

九州大谷短期大学グランドデザイン

本学は仏教学科、表現学科、幼児教育学科、福祉学科、専攻科福祉専攻を設置しています。いずれも、人間を尋ね、出会い、明らかにし、表現し、そして人間に成る学びを深める「人間学」を基礎としています。

今、私たちは人間が解らなくなった時代に生きています。それだけに、人間に帰ることが切に願われているのです。

本学は2010年に開学40周年を迎えました。それを機に、未来に向かって新たに将来ビジョンを構想し、全学を挙げてその実現に向けて「グランドデザイン」を策定しました。現在、それに基づいた第一歩が踏み出されています。

2012年4月1日

学長 大江 憲成

九州大谷短期大学グランドデザイン概要図【2016年度】

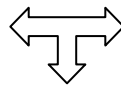
基本理念

真宗大谷学園存立の精神：三つの指標

設立の願い：浄土真宗の精神を世界に開くことを使命とする
 教育の理念：人間をエゴイズムから解放する教育と研究
 教育の方針：真の独立者として相互敬愛の心を有する人物を育成する

九州大谷短期大学建学の精神「本学の願い」

本学は、親鸞聖人が浄土真宗の名をもって明らかにされた仏教の精神にもとづき、自他への人間的自覚をうながし、真に自主的かつ社会的な人材の育成をはかることを教育の本旨とする。
 ・人生の主体者となる ・共に歴史と世界を生きる ・問いを学ぶ



本学の志向する人物像 師友と出遇い母校愛に満ちたはつらつたる人物

「親鸞を開く」

～開学40周年を^う受け、50周年に向けて～

一人一人が、基本理念を表現し、感動ある学びの場として「地域社会から見える大学」となることを目指す。
 また、その実現に向けた真の経営基盤(人物、教育内容、施設、財務)の充実に取り組む。

経営目標

長期10年

経営戦略

中期5年

経営職務

二〇一六年度

A 学生支援の充実

人間学を基盤とする学生支援の充実を図る

I 本学の教育基盤である人間学の展開と充実

1. 「人間の基礎」の基本方針・内容の構築
2. 仏教讃歌教育の展開

II きめ細やかな学生支援体制の充実

1. 学生支援体制の構築
2. 短大生活へのスムーズな移行・適応の支援
3. 学生にとって教職員が身近な存在となる取組

III キャリア支援の充実

1. キャリア支援プログラムの点検と充実
2. 「生活の基礎」の基本方針・内容の構築
3. 学科を越えた資格取得カリキュラムの検討
4. 就職・進学支援の充実

B 教育・研究の推進

「浄土真宗学」※の研究を推進し、これを基盤とした各学科の教育内容を学内外に表現する

※「浄土真宗学」
 親鸞聖人が浄土真宗の名をもって明らかにされた
 仏教の精神にもとづき、自他への人間的自覚を
 うながし、真に自主的かつ社会的な人物の育成を
 はかる学び

I 「人」の養成を目指す 浄土真宗学の推進と公開

1. 九州大谷真宗研究所(真宗研)の充実と展開
2. 浄土真宗学の研究体制の構築
3. 教化講習会事業の推進(第4期)
4. 開学50周年に向けた研究事業の推進
5. 宗派各機関との関係構築による、宗門教化事業と本学学事との連携推進

II 各学科の特色ある教育研究の推進

1. 基本理念と経営目標に基づく教育方針の構築
2. 教育方針に基づく教育内容(カリキュラム、行事等)・教育事業の構築
3. 基本理念と経営目標に基づく研究の推進
4. FDの充実

III 教育研究成果の公開と 地域交流・社会貢献の推進

1. 研究・社会活動等の推進と成果の公開
2. 施設開放への取組推進
3. 図書館の充実と展開(知的資源の公開)
4. 地域交流への取組推進
5. エコキャンパスの推進(社会貢献の推進)
6. 生涯学習センターの充実と展開
7. 卒業生の組織化
8. リカレント教育体制の構築

C 募集力の強化

出遇いがつながら合う募集広報の確立を図る

I 「勇」ある広報

1. 計画的な広報体制の構築
2. 学内広報の積極的な展開
3. 卒業生への広報の充実
4. 近隣地区に特化した広報の徹底
5. 大谷派寺院への広報の積極的な展開
6. ホームページの徹底的な活用

II 魅力が見える学生募集の推進

1. 大学・各学科の特徴と魅力が見える学生募集
2. 高校(高校生)への募集対策の強化
3. 社会人入学の促進
4. 高大連携の充実と拡充
5. 学生募集情報の有効な活用

III 募集体制の活性化

1. 基本理念を実現する募集力強化への提言
2. 学長GPの活用

D 財務・運営力の強化

基本理念の具現化に向け、戦略性のある財務と躍動する組織の実現を図る

I 財務基盤の強化

1. 中長期の財務戦略の構築
2. 補助金の獲得推進
3. 寄付金の勧募推進

II 活力ある組織体制の構築

1. 教職員を対象とした、基本理念の浸透
2. 経営バランスと組織の活性化を図る抜本的な人事体制と給与制度改革
3. SDの充実

III 教育研究環境の長期的構想

1. 周年事業に向けた構想
2. 第三者評価の取組